

参考資料 - 3

沿岸域で生じている問題に関する国民の意識調査結果
及び
沿岸域で生じている問題に関する地方公共団体へのアンケート
結果

沿岸域で生じている問題に関する国民の意識調査結果

1. 問題・不満に感じる事項

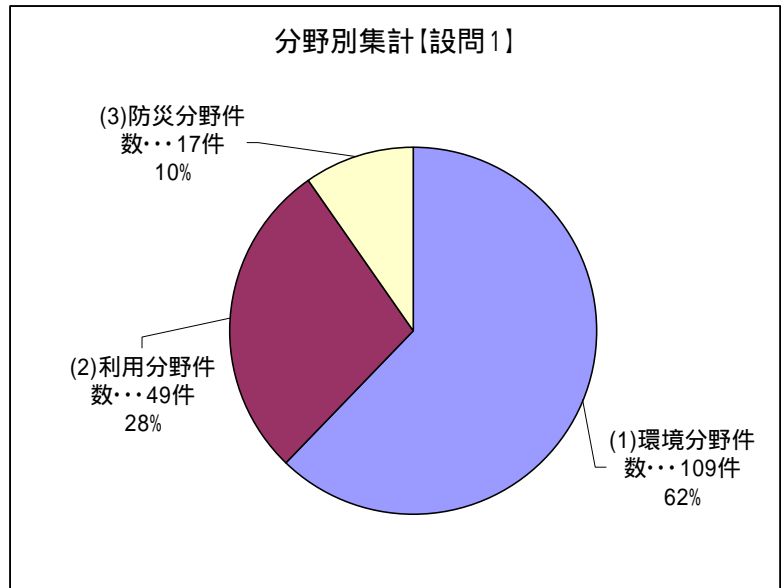
【分野別件数】

問題・不満に感じる事項では、環境に関する問題が約 62%と最も多く、次に利用に関する問題が約 28%、防災・安全に関する問題が約 10%となっている。

回答者総数 : 116 人
 単純意見総数 : 127 件
 項目該当意見総数 : 175 件

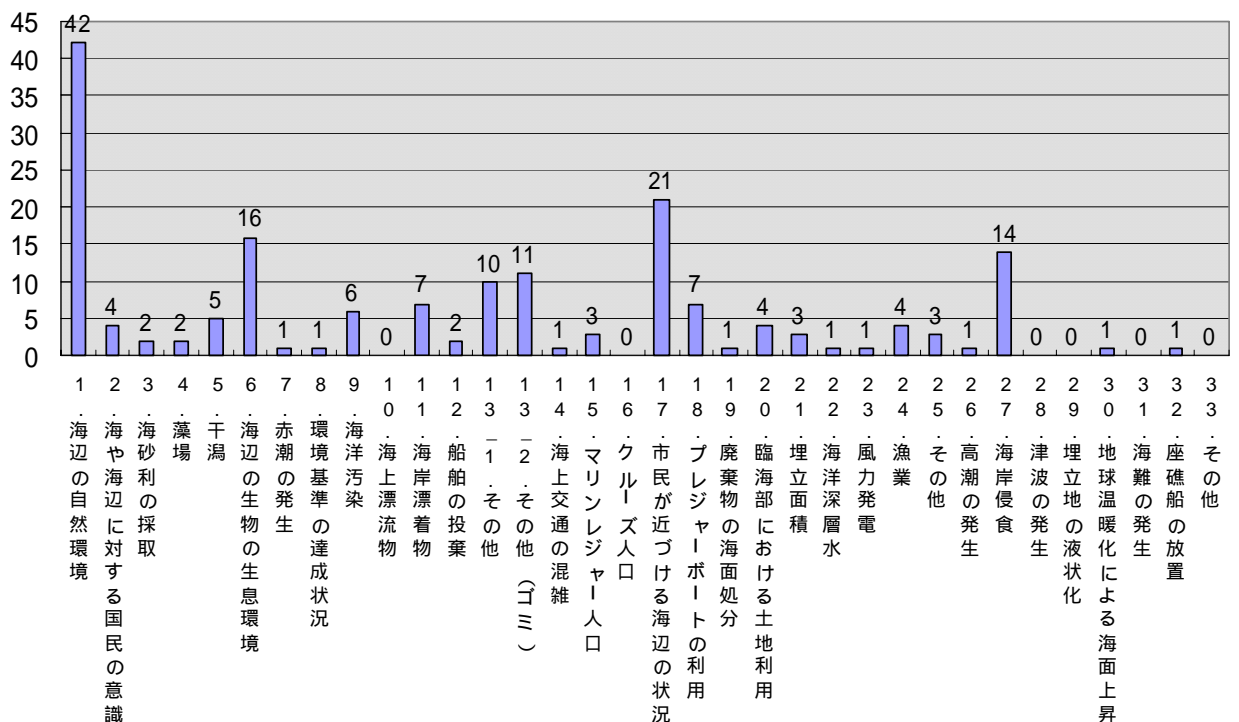
【問題事例別件数】

海辺の自然環境に関する問題が最も多く、次に市民が近づける海辺の状況、生物の生息環境、海岸侵食となっている。



アンケート数

項目別集計 [設問1]



2. 身近に起きている事例

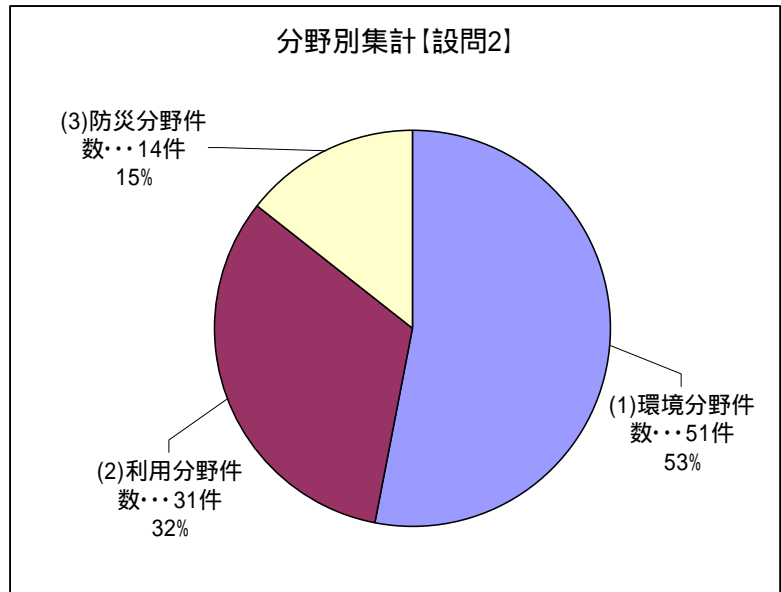
【分野別件数】

身近に起きている事例では、環境に関する事例が約 53%と最も多く、次に利用に関する事例が約 32%、防災・安全に関する事例が約 15%となっている。

回答者総数 : 116 人
 単純意見総数 : 76 件
 項目該当意見総数 : 96 件

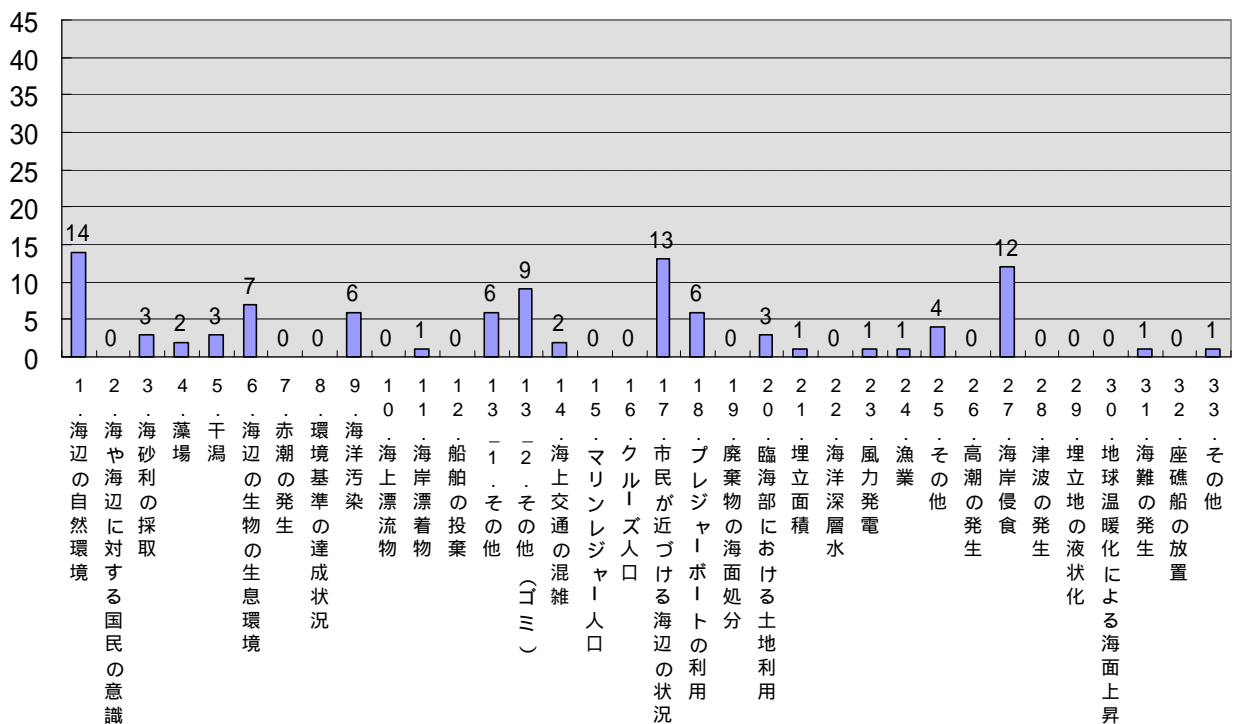
【問題事例別件数】

海辺の自然環境に関する問題が最も多く、次に市民が近づける海辺の状況、海岸侵食となっている。



アンケート数

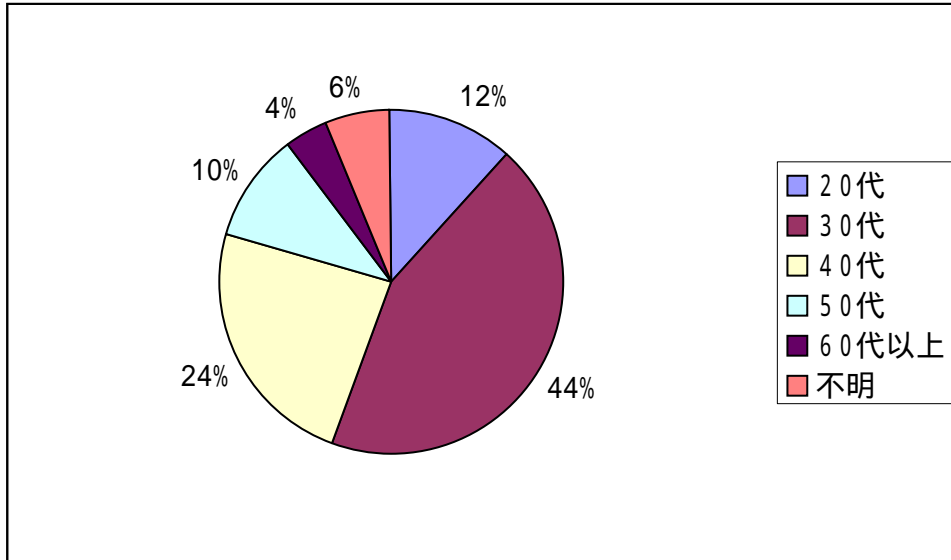
項目別集計【設問2】



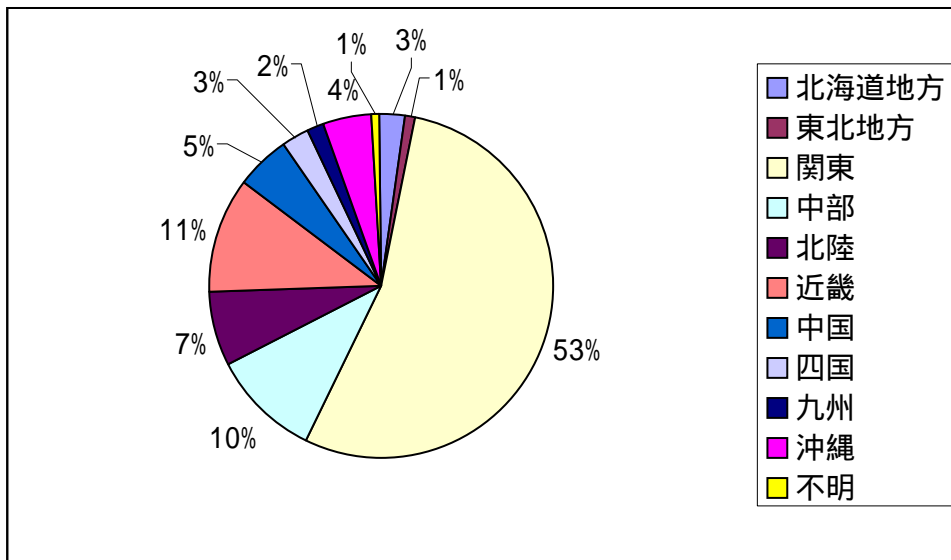
3. アンケート回答者の属性

回答者総数 116人

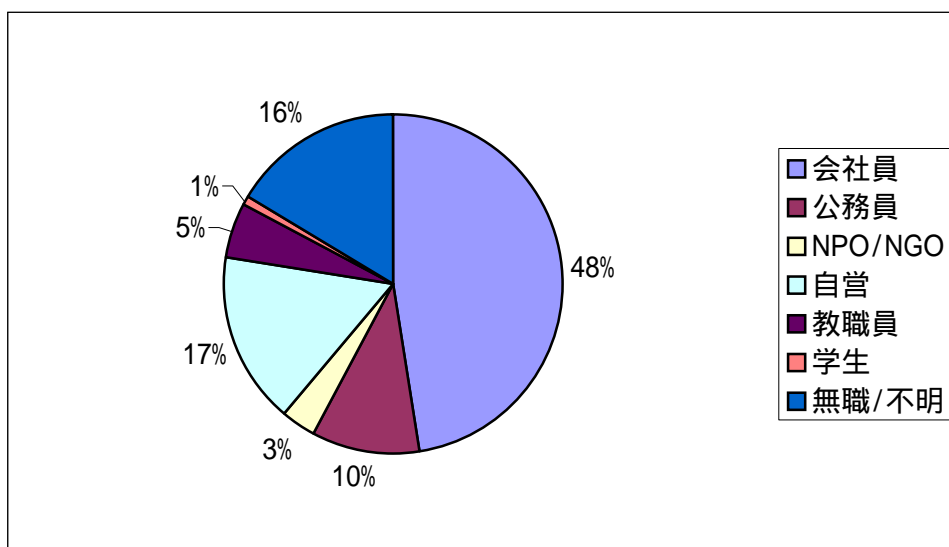
年代別



地域別



職業別



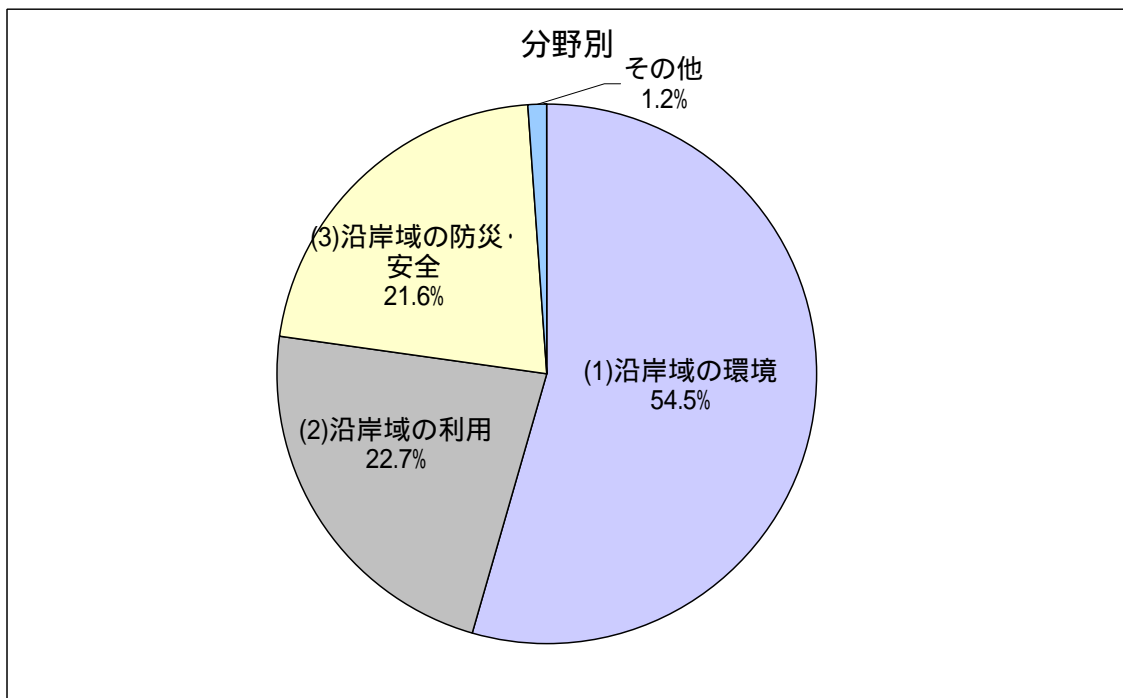
沿岸域で生じている問題に関する地方公共団体へのアンケート結果

1. アンケート全体集計結果

結果を大別すると、環境に関する問題が約 55%と最も多く、利用と防災・安全が約 22～23%となっている。

【分野別件数】

	(1)沿岸域の環境	(2)沿岸域の利用	(3)沿岸域の防災・安全	その他	total
問題事例(件数)	1526	635	605	35	2801
割合	54.5%	22.7%	21.6%	1.2%	

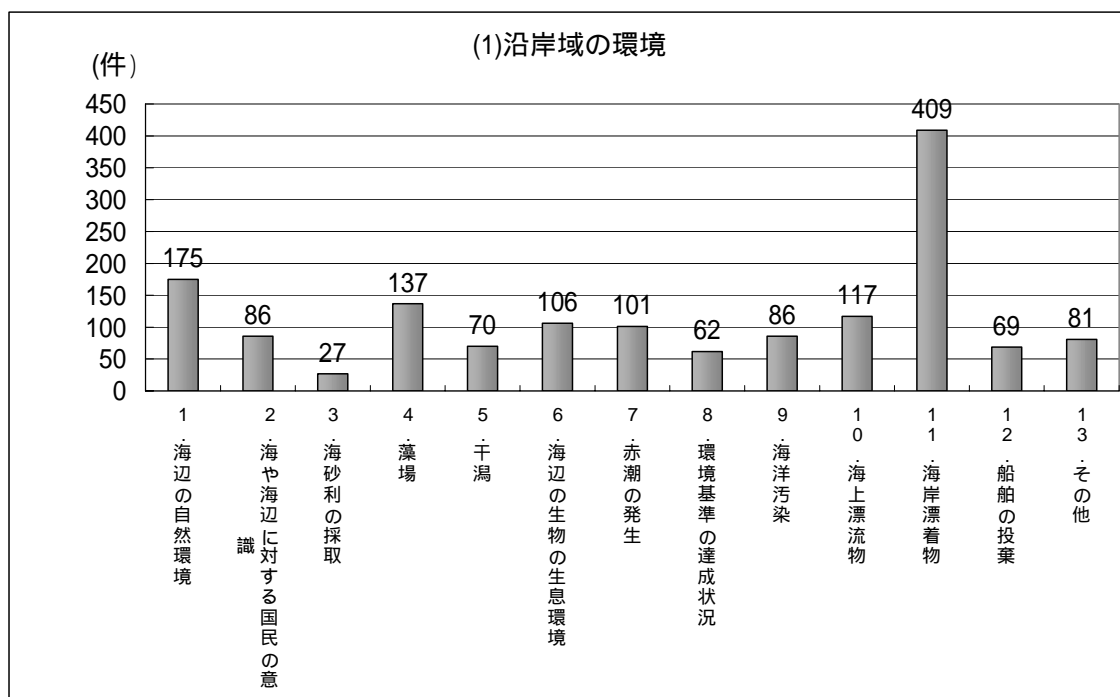


2. アンケート分野別 問題事例の結果

(1) 沿岸域の環境

沿岸域の環境に関する問題では、海岸漂着物に関するものが最も多く、次いで自然環境、藻場に関する問題となっている。

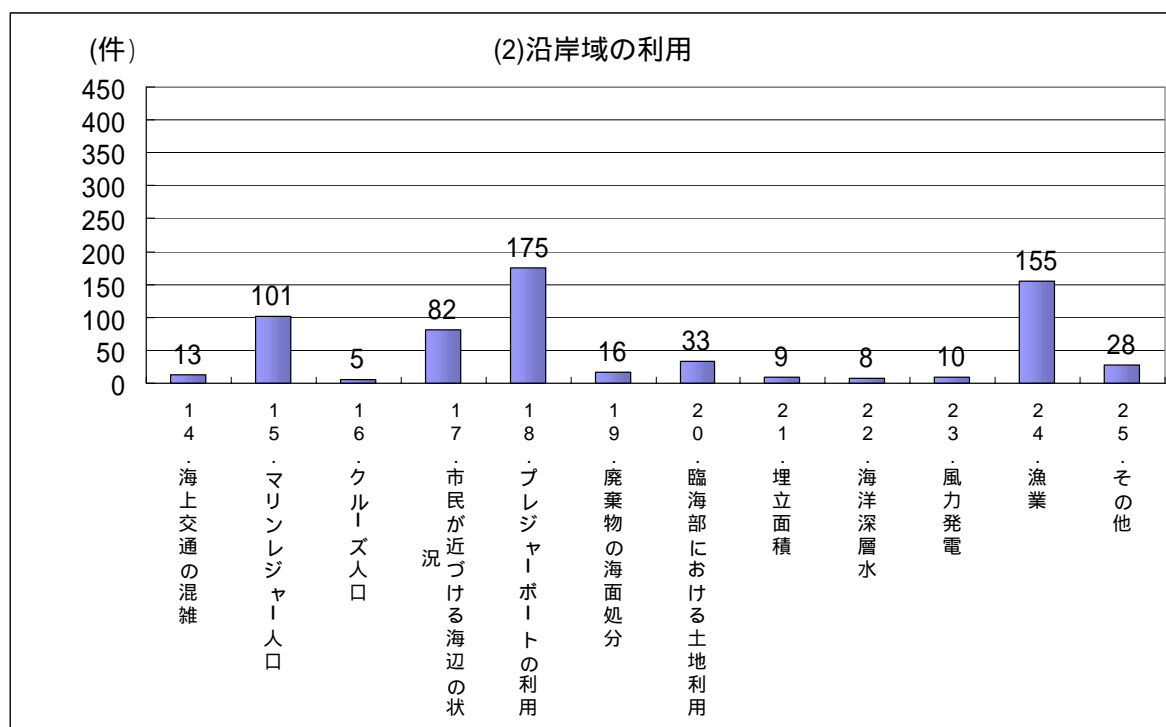
合計	1.海辺の自然環境	2.海や海辺に対する国民の意識	3.海砂利の採取	4.藻場	5.干潟	6.海辺の生物の生息環境	7.赤潮の発生	8.環境基準の達成状況	9.海洋汚染	10.海上漂流物	11.海岸漂着物	12.船舶の投棄	13.その他
1526	175	86	27	137	70	106	101	62	86	117	409	69	81
	11.5%	5.6%	1.8%	9.0%	4.6%	6.9%	6.6%	4.1%	5.6%	7.7%	26.8%	4.5%	5.3%



(2) 沿岸域の利用

沿岸域の利用に関する問題では、プレジャーボートの利用に関するものが最も多く、次いで漁業、マリレジャー人口、市民が近づける海辺の状況に関する問題となっている。

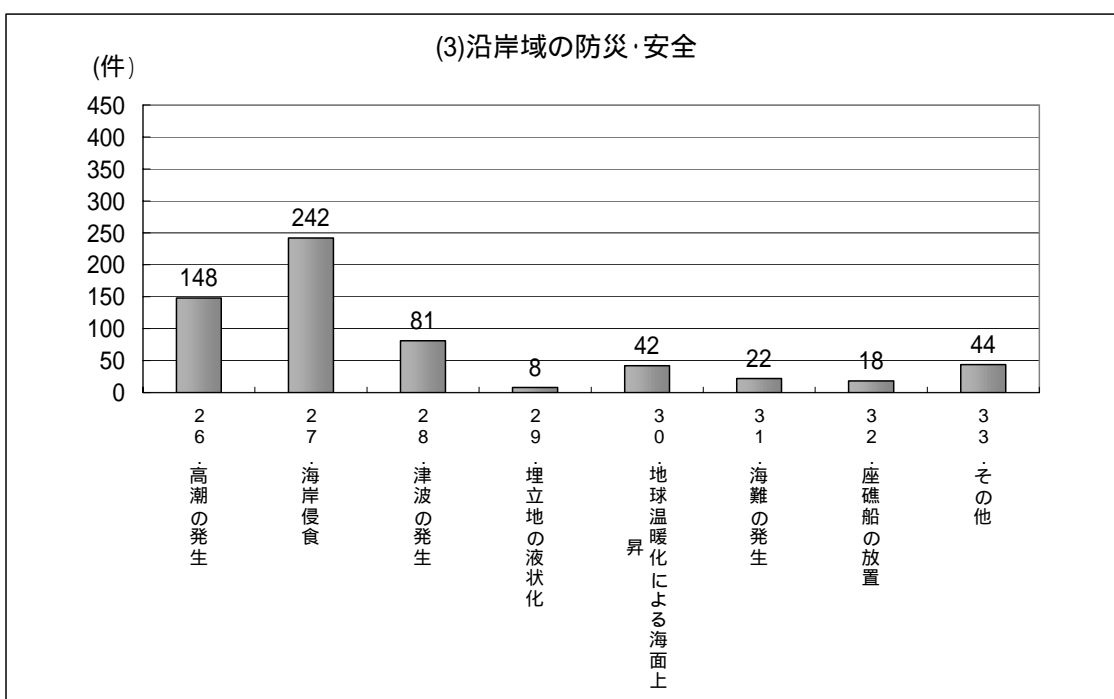
	14.海上交通の混雑	15.マリレジャー人口	16.クルーズ人口	17.市民が近づける海辺の状況	18.プレジャーボートの利用	19.廃棄物の海面処分	20.臨海部における土地利用	21.埋立面積	22.海洋深層水	23.風力発電	24.漁業	25.その他
635	13	101	5	82	175	16	33	9	8	10	155	28
100%	2.0%	15.9%	0.8%	12.9%	27.6%	2.5%	5.2%	1.4%	1.3%	1.6%	24.4%	4.4%



(3) 沿岸域の防災・安全

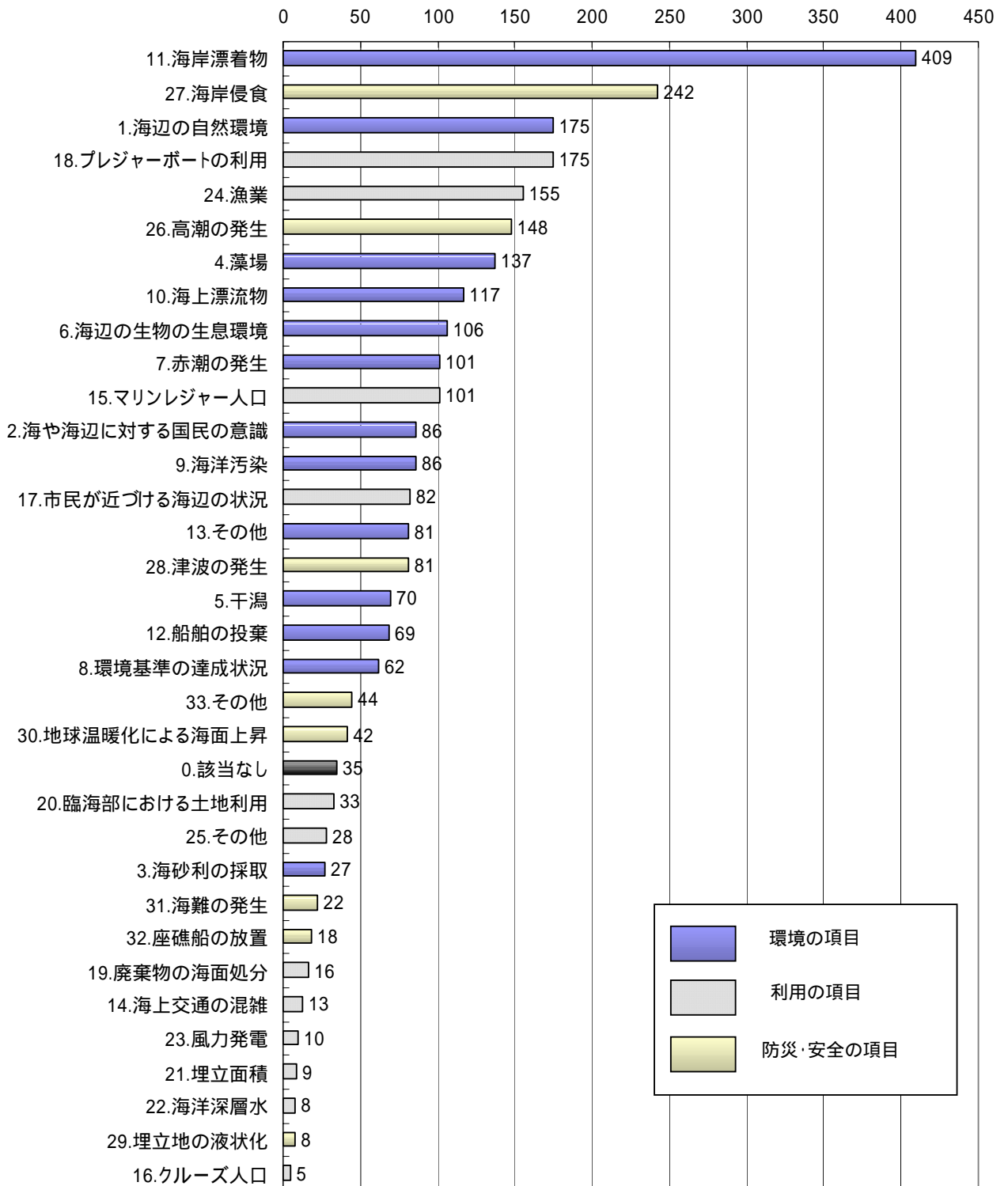
沿岸域の防災・安全に関する問題では、海岸侵食に関するものが最も多く、次いで高潮、津波に関する問題となっている。

	26.高潮の発生	27.海岸侵食	28.津波の発生	29.埋立地の液状化	30.地球温暖化による海面上昇	31.海難の発生	32.座礁船の放置	33.その他
605	148	242	81	8	42	22	18	44
100%	24.5%	40.0%	13.4%	1.3%	6.9%	3.6%	3.0%	7.3%



問題事例 件数順 グラフ

(件)

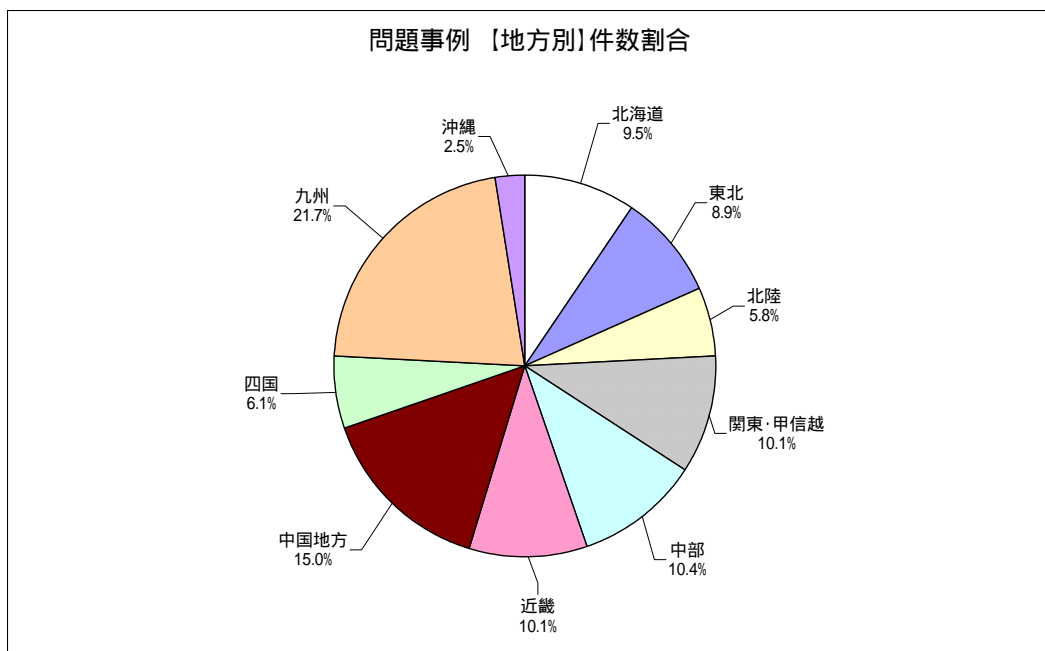
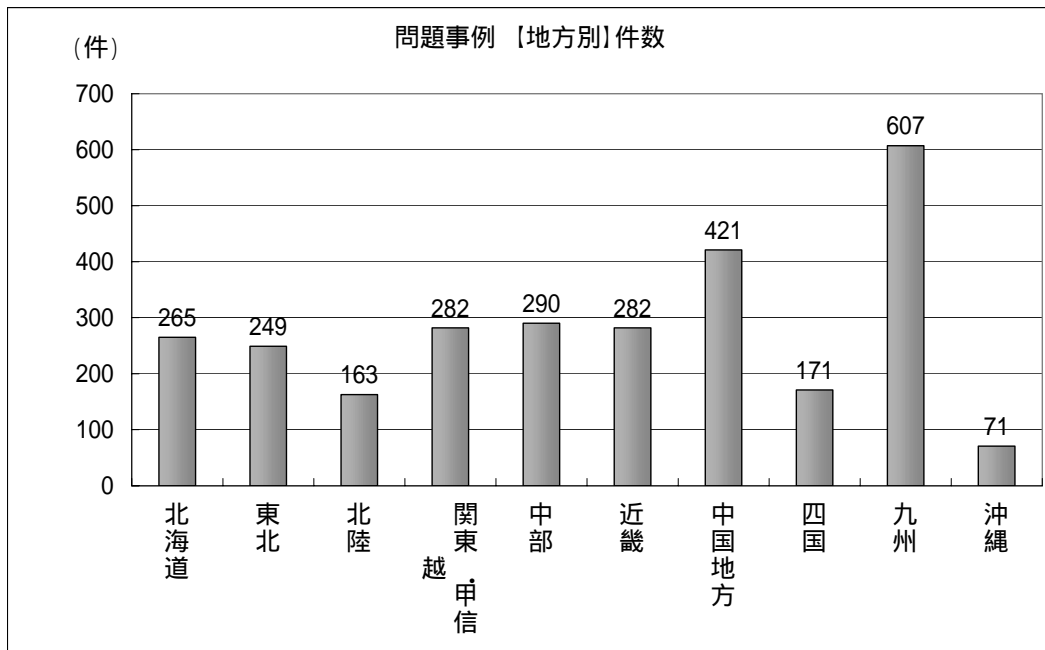


3、アンケート地方別集計結果

(1) 地方別件数

今回のアンケートでは、九州地方において問題事例の指摘が最も多く、次いで中国地方となっている。

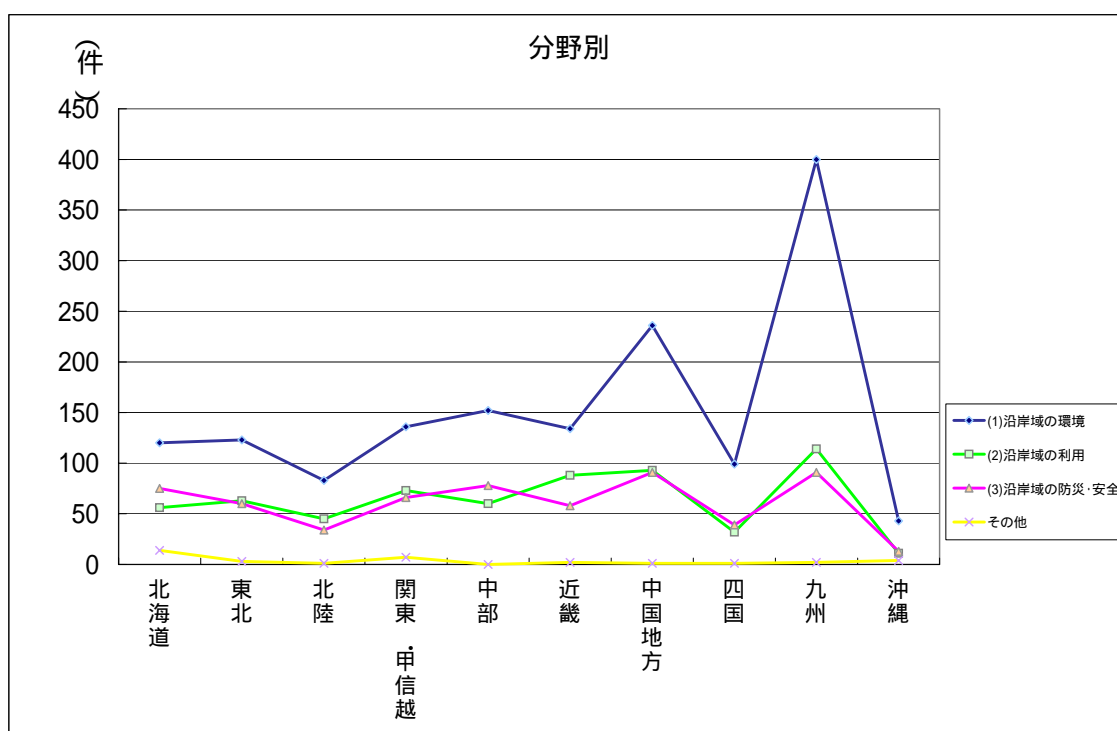
北海道	東北	北陸	関東・甲信越	中部	近畿	中国地方	四国	九州	沖縄	合計
265	249	163	282	290	282	421	171	607	71	2801
9.5%	8.9%	5.8%	10.1%	10.4%	10.1%	15.0%	6.1%	21.7%	2.5%	100%



(2) 分野別・地方別の件数

今回のアンケートでは、沿岸域の環境に関する問題が各地方とも他の2つの分野に比して最も多く、沿岸域の利用に関する問題、沿岸域の防災・安全に関する問題は、各地方とも同様の指摘件数となっている。

地方名	(1)沿岸域の環境	(2)沿岸域の利用	(3)沿岸域の防災・安全	その他
北海道	120	56	75	14
東北	123	63	60	3
北陸	83	45	34	1
関東・甲信越	136	73	66	7
中部	152	60	78	0
近畿	134	88	58	2
中国地方	236	93	91	1
四国	99	32	39	1
九州	400	114	91	2
沖縄	43	11	13	4

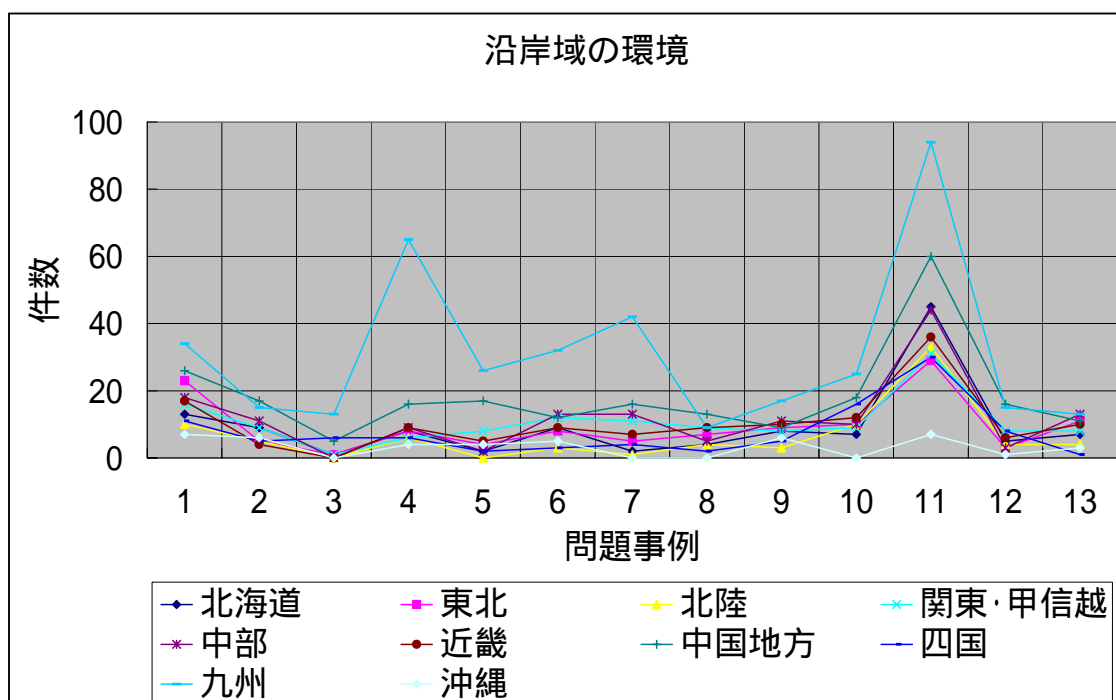


(3) 地方別の問題事例件数

沿岸域の環境

今回のアンケートでは、海岸漂着物に関する問題が各地方とも最も多く、次いで海辺の自然環境に関する問題となっている。但し、九州地方においては、海岸漂着物に関する問題に次いで、藻場、赤潮の発生、干潟に関する問題が多く、全国的な問題指摘傾向とは異なる。

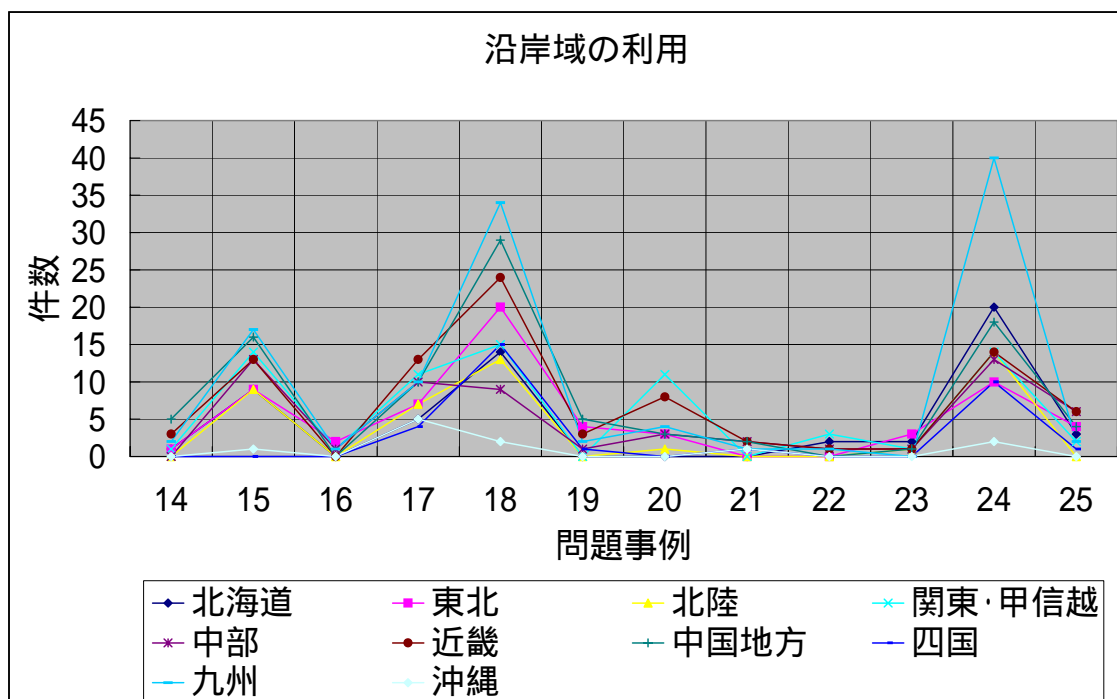
	1.海辺の自然環境	2.海や海辺に対する国民の意識	3.海砂利の採取	4.藻場	5.干潟	6.海辺の生物の生息環境	7.赤潮の発生	8.環境基準の達成状況	9.海洋汚染	10.海上漂流物	11.海岸漂着物	12.船舶の投棄	13.その他
total	175	86	27	137	70	106	101	62	86	117	409	69	81
北海道	13	9	1	8	2	9	2	4	8	7	45	5	7
東北	23	5	1	8	4	8	5	7	9	10	29	3	11
北陸	10	5	0	6	0	3	1	4	3	10	33	4	4
関東・甲信越	16	9	1	6	8	12	11	9	8	9	31	8	8
中部	18	11	0	9	2	13	13	5	11	10	44	3	13
近畿	17	4	0	9	5	9	7	9	10	12	36	6	10
中国地方	26	17	5	16	17	12	16	13	9	18	60	16	11
四国	11	5	6	6	2	3	4	2	5	16	30	8	1
九州	34	15	13	65	26	32	42	9	17	25	94	15	13
沖縄	7	6	0	4	4	5	0	0	6	0	7	1	3



沿岸域の利用

今回のアンケートでは、漁業、プレジャーボートの利用、マリレジャーに関する問題が多くなっている。

	14.海上交通の混雑	15.マリレジャー人口	16.クルーズ人口	17.市民が近づく海辺の状況	18.プレジャーボートの利用	19.廃棄物の海面処分	20.臨海部における土地利用	21.埋立面積	22.海洋深層水	23.風力発電	24.漁業	25.その他
total	13	101	5	82	175	16	33	9	8	10	155	28
北海道	1	9	0	5	14	0	0	0	2	2	20	3
東北	1	9	2	7	20	4	3	0	0	3	10	4
北陸	0	9	0	7	13	0	1	0	0	1	14	0
関東・甲信越	1	14	1	11	15	0	11	0	3	1	14	2
中部	0	13	1	10	9	1	3	2	1	1	13	6
近畿	3	13	0	13	24	3	8	2	1	1	14	6
中国地方	5	16	0	10	29	5	3	2	0	1	18	4
四国	0	0	0	4	15	1	0	1	0	0	10	1
九州	2	17	1	10	34	2	4	1	1	0	40	2
沖縄	0	1	0	5	2	0	0	1	0	0	2	0



沿岸域の防災・安全

今回のアンケートでは、海岸侵食に関する問題が各地方とも最も多く、次いで高潮、津波に関する問題となっている。但し、海岸侵食に関する問題については、特に北海道がアンケートにおける問題指摘総件数に比して指摘件数が多い。同様の傾向は、北陸地方、関東地方に見られる。

	26.高潮の発生	27.海岸侵食	28.津波の発生	29.埋立地の液状化	30.地球温暖化による海面上昇	31.海難の発生	32.座礁船の放置	33.その他
total	148	242	81	8	42	22	18	44
北海道	13	39	10	0	3	0	4	6
東北	12	22	16	0	1	4	1	4
北陸	2	27	1	0	0	1	0	3
関東・甲信越	13	29	5	2	6	6	2	3
中部	17	23	23	0	4	2	1	8
近畿	11	19	17	3	3	2	0	3
中国地方	36	26	2	2	15	1	4	5
四国	9	14	6	0	1	3	1	5
九州	32	37	0	1	8	2	4	7
沖縄	3	6	1	0	1	1	1	0

